

V1.00

# SIM カード搭載遠隔モニタリングカメラ

## クイックガイド

# 説明書を読む前に

本説明書では、本製品の設置および運営のための基本的な説明を記述しています。本製品を初めてご使用になるユーザーを初め、以前多くの類似製品を使用していたユーザーの方でも、必ずご使用になる前に本説明書をお読みになり注意事項をご確認の上、製品を使用することをお勧め致します。安全上の警告および注意事項は、製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるもので、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管してください。

## 本書について

- 内容の正確性を期するよう努力しておりますが、技術的な誤りや誤植が存在することがあります。当社はそのような誤りについて責任を負うことはできず、事前の通知なしにマニュアルを変更する権利を留保します。
- 不適切な操作によって生じる破損や損害は当社で責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容は通知や予告なく変更する場合があります。製品バージョンのアップグレードや各地域における規則の遵守などの理由で本書は定期的に更新されます。

## 著作権について

本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしに、いかなる方法およびいかなる形式でも、複写、複製、翻訳、または配布することは禁じられています。本書に記載されている製品には、当社またはそのライセンサーが所有する独自のソフトウェアが含まれている場合があります。許可のない限り、いかなる方法でもソフトウェアを複製、配布、変更、抽象化、逆コンパイル、逆アセンブル、解説、リバースエンジニアリング、レンタル、転送、またはサブライセンスを行うことは禁じられています。

## 個人情報の保護について

当社はお客様の個人情報保護の徹底、適切な管理を社会的責務と考え、個人情報の保護に関する法律及びこれに関連する法規に則り、お客様の個人情報の保護に取り組んで参ります。当社の個人情報保護方針については、当社サイトに記載のプライバシーポリシーの全文をお読みください。本書に記載の製品を使用する際には、顔、指紋、ナンバープレート番号、メールアドレス、電話番号、GPSなどの個人情報が収集されることがあります。本製品を使用する際には、お住まいの地域の法規や規則を遵守してください。

## 免責事項について

- 適用法で認められる範囲において、当社はいかなる場合においても、特別損害、付随的損害、間接的損害、派生的損害、利益、データ、文書の損失について一切の責任を負わないものとします。
- 本書に記載の製品は「現状のまま」の状態を提供されます。適用法で義務付けられている場合を除き、本書は情報提供のみを目的としており、本書のすべての記述、情報、推奨事項について、明示的あるいは黙示的を問わず一切の保証を致しかねます。(商品性、品質の満足度、特定用途への適合性、権利非侵害等を含むがこれらに限定されません。)
- 本製品をインターネットに接続することによって生ずるリスク(ネットワーク攻撃やハッキング、ウィルスを含むがこれらに限定されない)は、すべて使用者が責任を負うものとします。ネットワーク、デバイス、データ、個人情報の保護を強化するために必要なあらゆる措置を講じることを強くお勧めします。当社は

これらに関連するいかなる責任も負いかねますが、必要なセキュリティ関連のサポートを迅速に提供します。

- 適用法で禁止されていない限り、当社およびその従業員、ライセンサー、子会社、関連会社は、製品またはサービスの使用または使用不能から生じる結果(利益の損失およびその他の商業的損害または損失、データの損失、代替品またはサービスの調達、物的損害、人身被害、事業の中断、ビジネス情報の損失、または特別、直接的、間接的、偶発的、結果的、金銭的、補償、懲罰的、付随的な損失を含むがこれらに限定されない)に対して、いかなる場合も責任を負わないものとします。
- 適用法で認められる範囲内で、本書に記載されている製品に対するすべての損害(人身被害を含む場合に適用法で要求される場合を除く)に対する当社の責任の上限はお客様が製品に支払った金額を超えることはありません

## ネットワークセキュリティについて

下記を参考にデバイスのネットワークセキュリティを強化する上で必要な対策を講じてください。

- デフォルトパスワードの変更および強力なパスワードを設定する。初回ログイン後にデフォルトパスワードを変更するよう強くお勧めします。数字、文字、特殊文字の3種類をすべて含む9文字以上から成る強力なパスワードを設定してください。
- ファームウェアを最新の状態に維持する。最新機能を取得しセキュリティを向上するため、デバイス内のファームウェアを常に最新の状態に維持するよう推奨します。最新のファームウェアについては、お買い上げ販売店にお問い合わせください。
- パスワードを定期的に変更する。パスワードを定期的に変更し、パスワードを安

全に保管してください。関係者以外的人物がログインできないようにしてください。

- HTTPS/SSL を有効にする。SSL 証明書を使用して HTTP 通信を暗号化し、データのセキュリティを確保してください。
- IP アドレスフィルタリングを有効にする。指定 IP アドレスからのアクセスのみを許可します。
- ポートマッピングを最小にする。WAN に対して開かれるポート数が最小になるようルーターまたはファイアウォールを設定し、必要なポートマッピングのみを保持します。デバイスを DMZ ホストに設定したり、フルコーン NAT を設定しないでください。

## ネットワークセキュリティについて

- 自動ログイン機能およびパスワード保存機能を無効にする。2人以上のユーザーがアクセスするコンピュータの場合、不正使用を防止するためこうした機能を無効にするよう推奨します。
- ユーザー名とパスワードを選ぶ。ソーシャルメディア、銀行、メールアカウントの情報が漏れた場合に備えて、デバイスのユーザー名やパスワードとして、ソーシャルメディア、銀行、メールアカウントなど同一のユーザー名やパスワードを使用しないでください。
- ユーザー権限を制限する。2人以上のユーザーが同じアカウントにアクセスする必要がある場合、必要な権限のみを許可してください。
- UPnP を無効にする。UPnP を有効にした場合、ルーターは自動的に内部ポートをマッピングし、システムは自動的にポートデータを転送するので、データが漏洩する恐れがあります。したがって、お使いのルーターで HTTP と TCP ポートマッピングが手動で有効化されている場合、UPnP を無効にするよう推奨します。
- SNMP を使用しない場合は無効にする。SNMP を使用する場合は SNMPv3 を推奨します。
- マルチキャストは複数のデバイスにビデオを転送することを目的としております。この機能を使用しない場合、ネットワークでマルチキャストを無効にするよう推奨します。
- ログを確認する。不正なアクセスや異常な操作が行われていないか、デバイスログを定期的に確認してください。
- 物理的保護をする。物理的な不正アクセスを防止するため、鍵のかかる部屋かキャビネット内にデバイスを保管してください。
- ビデオ監視ネットワークを分離する。ビデオ監視ネットワークを他のサービスネットワークから分離すると、他のサービスネットワークからセキュリティシステムのデバイスへの不正アクセスを防ぐことができます。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

本製品は取扱説明書に従った正しい使い方をしてください。記載されている警告・注意事項を遵守しなかったり、不適当な使用方法をすると、本製品の破損や故障、人への危害、財産の損害を招く可能性があります。これらにより発生した損害は、当社では責任を負いかねます。

## ご使用になる前に

安全および製品の故障を防ぐため、本装置をご使用になる前に下記の内容を必ず熟読した後でお使いください。製品を正しく使うことで使用者の安全を保護し、財産上の損害などを防止するための内容であるため、必ずお読みになった上、正しくお使いください。

- 製品を運搬、または設置する時に衝撃を与えないでください。
- 振動や衝撃がある所に設置しないでください。故障の原因となります。
- 製品の動作中には、製品を動かしたり移動しないでください。
- 清掃をする時は電源を切った後、必ず乾いた布で拭いてください。
- 水または湿気などの防水対策が施されていない場所には置かないでください。
- 電源コードを引っ張って抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。破損した電源コードを使うと、火災および感電につながる恐れがあります。
- 予想できない停電による製品の破損を防止するため、UPS(Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置)のご利用をお勧めします。関連内容は、UPS 代理店でお問い合わせください。
- 本装置内部の一部は感電する恐れがあるため、カバーを開けないでください。
- 電池は必ず同一規格のものを使用してください。同一規格以外のものを使用すると爆発の恐れがあります。
- 壁や天井などに設置する際は、安全にしっかりと固定し、適正温度を保持してください。空気が循環しない密閉された空間に設置すると、火災の原因となります。
- 故障および感電の恐れがある温度変化が激しい所や湿気が多い所を避け、接地されていない電源コード及び電源拡張ケーブル、被覆がむけた電源コードを使わないでください。
- 雷の発生が多い地域は雷保護装置のご使用をおすすめします。
- 本装置から異様な匂いがしたり煙が出たら、直ちに電源を切って購入先まで連絡してください。
- 湿度に注意してください。本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまりレンズが曇ることがあります。

【警告】赤外線 LED 搭載カメラにおいては、赤外線が放出されます。IR LED を直接見ないでください。

本製品は下記 URL に掲載されている特許の 1 つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。 [patentlist.accessadvance.com](http://patentlist.accessadvance.com)

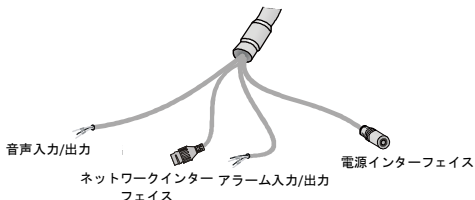
## 1. 同梱リスト

製品を購入したら梱包を解体し、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。

No.	項目	数量
1	カメラ本体	1 個
2	クイックガイド	1 冊
3	防水部品 <sup>(1)</sup>	1 組
4	保証書	1 枚

(1) ゴムリングやプラグなど、1つ以上の防水部品を含みます。

## 2. 各ケーブルの機能



### 防水対策について

接続部の**防水対策が不十分な場合**、浸水や湿気によりカメラ本体が故障してしまう可能性があります。

屋外用カメラの場合、カメラ本体は防水仕様となっておりますが、電源端子やネットワークポート端子などの**接続部は防水仕様ではない為**、施工時にお客様自身で防水処理を行っていただく必要があります。

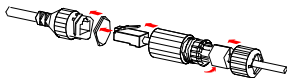
カメラを設置される際は**必ず防水対策**を行っていただきますようお願いいたします。

#### 【注意】

- 本手順を開始する前に必要なケーブルをすべて接続し、使用しないケーブルの銅線は切断してください。
- ケーブルの保護には、粘着性の防水テープ（別売）をご使用ください。
- ネットワークケーブルを保護するために防水部品を使用してください。電源ケーブルを使用しない場合は、個別に防水してください。

## 防水対策について

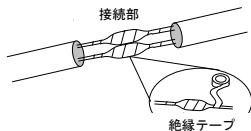
1. 付属の防水部品をネットワークケーブルに順番に取り付けます。



### 【注意】

- 先ずゴムリングをネットワークケーブルのネットワークポートに取り付ける必要があります。

2. 防水テープ(別売)で、各ケーブルの接続部を絶縁します。



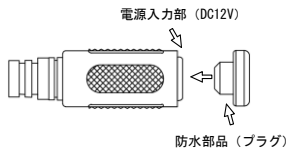
3. 粘着性のビニールテープでケーブルを防水します。

- ① 防水テープの両端を十分に伸ばします。
- ② 接続部分とケーブルの端を防水テープでしっかりと包んで巻きます。防水テープは十分に伸ばしながら巻きます。
- ③ 水漏れを防ぐために防水テープの両端はきつく締め付けてください。



未使用のケーブルはビニールテープで束ねてください

4. 電源入力部を使用しない場合、電源入力部に同梱品の防水部品(プラグ)を取り付けてください。



### 防水処理の例

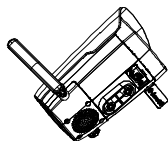


### 【注意】

- ケーブルコネクターは露出させず、水がかからないようにしてください。
- 電源アダプターは配電ボックスや壁内に格納してください。

### 3. 設置

#### ● SIM カードの挿入



マイクロ SD カード スロット  
SIM カード スロット

SIM カードの向きに注意し、スロットへ挿入してください。

Web 設定画面より APN の設定をすることでモバイルネットワークに接続することができます。

対応 SIM カード: Softbank 4G

APN	plus.4g
ユーザー名	plus
パスワード	4g
認証モード	自動
MTU	1500

#### ● マイクロ SD カードの挿入 (任意)

マイクロ SD カード対応のカメラの場合、マイクロ SD カードスロットへマイクロ SD カードを挿入することで対応する機能を使用することができます。マイクロ SD カードの抜き差しは、カメラ電源が入っていない状態で行ってください。カメラや SD カードが破損するおそれがあります。

#### ● 天井取付

専用ブラケット (PF-EAB022) を利用して、天井面へ取り付けることができます。

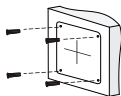
※天井強度が十分に丈夫ではない場合、カメラが落下するおそれがあるので、天井強度が十分か確認をしてください。

#### ● 壁面取付

専用ブラケット (PF-EAB023) を利用して、

壁面へ取り付けることができます。壁面強度が十分に丈夫ではない場合、カメラが落下するおそれがあるので、壁面の強度が十分か確認をしてください。

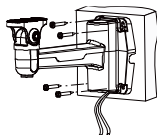
1. 穴の位置を決めてから壁面にドリルで穴を開けて、セルフタッピングネジのアンカープラグを取り付けます。



2. ジャンクションボックスカバーを取り外します。



3. 壁面にブラケットを設置します。



4. 取り付けネジを用いてカメラを取り付けます。

## 4. 起動

本デバイスを設置後、電源を印加し本デバイスを起動します。

## 5. カメラへのアクセス

作業を始める前に、次の点を確認してください。

- カメラが正常に動作し、ネットワークに接続されていること。
- 使用しているパソコンに Internet Explorer 7.0 以降がインストールされていること。

**次の手順に従って、インターネットを介してカメラにアクセスします。**

1. ブラウザを開き、アドレスバーにカメラの IP アドレス（初期設定は 192.168.1.13）を入力して、Enter を押します。
2. ログインページでユーザー名とパスワード（初期設定は admin/123456）を入力し、Login をクリックします。

---

### 【注意】

- デフォルトでは DHCP が有効になっています。ネットワークで DHCP サーバを使用すると、カメラに IP アドレスを割り当てていることがあり、その場合は割り当てられた IP アドレスを使用してログインする必要があります。
  - 初回ログイン時にプラグインのインストールが必要になることがあります。画面の指示に従ってインストールを完了し、ブラウザを再度開いてログインしてください。
  - デフォルトパスワードは最初のログインにしか使用できません。セキュリティを確保するため、初回ログイン後にパスワードを変更してください。数字・文字・特殊文字の 3 種類をすべて含む 9 文字以上の強力なパスワードを設定することを強くお勧めします。
  - パスワードを変更したら、新しいパスワードでログインしてください。
-

## 6. デバイスの管理

### 1. アプリのダウンロード(Guard Live)

ご使用になるスマートフォンで QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードします。



### 2. アプリを登録する

- 登録していない場合、サインアップをタップし、画面上の指示に従ってアカウントを登録し、ログインします。
- 既にアカウントをお持ちの場合は、直接ログインしてください。

### 3. デバイスの追加

- カメラ側の準備  
カメラ本体の WEB 設定内「P2P」にてデバイス登録用 QR コードを準備します。
- アプリ側の操作  
アプリ左上のハンバーガーメニュー画面を選択し「デバイス」→「+追加」→より「スキャン」を選択し準備した QR コードを読み取り登録します。

## アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

### ■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。  
詳しくは、お買い上げの販売店（または工事店）にご相談ください。

- 万一故障が発生した場合、お買い上げの販売店にお申し出ください。  
本製品は当社保証規定に基づき保証させていただいております。

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前に予告なく変更される場合があります。

---

## JAPAN SECURITY SYSTEM

株式会社ジャパン・セキュリティシステム

〒105-5111 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービルディング南館 11 階